

外郭団体評価調書【公益・一般法人用】

1. 基本情報

令和元年7月1日 現在

団体名	公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団		
所在地	新潟市中央区白山浦1丁目613番地69 新潟市開発公社会館内		
代表者(職・氏名) (所属・職)	理事長 小池 泰子	電話番号	025-234-4520 内線35330
	公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団	ホームページ	http://www.mmjp.or.jp/nc-acpf/
市所管課	文化政策課	電子メール	zaidansoumuka@niigata.email.ne.jp
基本財産 (基本金)	900,000 千円	設立年月日	平成3年7月6日 (平成24年4月1日公益財団法人へ移行)
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	900,000 千円	100.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	新潟市民の芸術文化及び歴史文化の振興を図り、もって、自主的自発的な市民文化の創造に寄与することを目的とする。(定款第3条より)		
経営理念 経営方針	上記の目的を達成するため次の事業を行う。 (1) 文化的な環境の充実及び文化活動の活性化事業 (2) 芸術文化の創造・発信、振興及び普及 (3) 歴史文化の振興及び情報収集・提供並びに調査研究 (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (定款第4条より)		

2. 主要事業

事業名①	事務局文化事業（公1）						
事業概要	新潟市出身作家の顕彰、文化事業の共催・後援・助成などの実施のほか、アーツカウンシル新潟による文化団体等への支援・助成事業や情報の収集・発信、企画提案等の多様な事業の実施により、新潟市の文化的な基盤の充実、各分野の文化活動の活性化を目的として事業を実施し、市民の自主的な文化活動を支援する。						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度（予算）
-	-	収入額	千円	38,034	70,661	65,105	72,404
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
助成金交付件数	R1	件	/				
	H30	件	/		11	申請21件、審査会を開催して交付決定	
	H29	件	/		21	申請32件、審査会を開催して交付決定 助成内容の見直し	
	H28	件	/		23	申請26件、審査会を開催して交付決定	
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
	R1						
	H30						
	H29						
	H28						
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
	R1						
	H30						
	H29						
	H28						

2. 主要事業

事業名②	市民芸術文化会館・音楽文化会館事業・ 県民会館事業（公2）						
事業概要	市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館・県民会館の諸施設を活用した、音楽・演劇・能楽などの鑑賞系・普及系・育成系事業や新潟発創造事業等の文化事業を行うほか、コンサートホール・劇場・能楽堂・ギャラリー・スタジオ・練習室等の管理運営及び貸館事業（公益目的に合致するもの）を行う。						
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度（予算）
-	-	収入額	千円	1,321,607	1,198,662	1,217,897	1,228,312
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
市民芸術文化会館 利用者数 （全体）	R1	人	347,000				
	H30	人	282,000	241,848	改修工事の影響が予想以上に大きかった。		
	H29	人	237,000	257,654	貸館が好調（自主事業での入場者数はほぼ目標値）		
	H28	人	328,000	323,780	目標策定時より改修工事の影響が予想以上に大きかった。（達成率：98.7%）		
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
市民芸術文化会館 文化事業 （自主文化事業） 年間鑑賞者数	R1	人	100,000				
	H30	人	100,000	102,827	自主事業の積極的な実施		
	H29	人	104,000	109,578	自主事業の積極的な実施		
	H28	人	120,000	131,144	自主事業の積極的な実施		
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
文化事業 自主財源比率	R1	%	60.0				
	H30	%	60.0	63.4	チケット収入や公演受託料、外部資金獲得に努めた。		
	H29	%	60.0	72.6	チケット収入や公演受託料、外部資金獲得に努めた。		
	H28	%	60.0	69.6	チケット収入や公演受託料、外部資金獲得に努めた。		
活動指標④	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
音楽文化会館 入場者数	R1	人	168,000			りゅーとぴあの工事終了に伴うホール利用の減少、定期利用団体の高齢化等に伴う解散・規模縮小など	
	H30	人	178,000	152,328	施設利用者の高齢化、利用団体の規模縮小のため		
	H29	人	178,000	165,108	施設利用者の高齢化、利用団体の規模縮小のため		
	H28	人	178,000	162,766	H27年度に耐震補強工事が長期に行われた影響、定期利用団体の高齢化による解散や縮小、景気の落ち込みによる利用の減少による。		

活動指標⑤	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
コンサートホール稼働率	R1	%	86.0		
	H30	%	89.0	78.9	貸館の利用が少なかった。
	H29	%	89.0	85.2	改修工事に伴う自主事業利用日数の減少（オルガン講座）
	H28	%	89.0	87.2	自主事業利用日数の減少
活動指標⑥	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
劇場稼働率	R1	%	80.0		
	H30	%	78.0	80.3	使用可能日数の増加に伴い、自主事業・貸館共に増加した。
	H29	%	78.0	77.3	改修工事休館の影響
	H28	%	78.0	80.6	自主事業利用日数が多かった。
活動指標⑦	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
能楽堂稼働率	R1	%	39.0		
	H30	%	47.0	37.1	市主催の利用日数が減少した。
	H29	%	47.0	38.6	目標策定時に想定していた自主事業を実施しなかった。
	H28	%	47.0	35.1	目標策定時に想定していた自主事業を実施しなかった。
活動指標⑧	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由
音楽文化会館ホール利用率	R1	%	70.0		
	H30	%	74.0	70.5	りゅーとびあの工事休館が終了し、利用者が元に戻ったこと、市主催事業の中止など
	H29	%	74.0	76.8	りゅーとびあの工事休館のため行き場のなくなった利用者が利用した。
	H28	%	74.0	65.8	H27年度に耐震補強工事が長期に行われた影響、定期利用団体の高齢化による解散や縮小、景気の落ち込みによる利用の減少による。

2. 主要事業

事業名③ 歴史博物館等・旧小澤家住宅事業（公3）							
事業概要		歴史博物館、旧新潟税関庁舎等、及び旧小澤家住宅において、新潟市域の歴史文化に関する調査・研究や資料収集・保存、企画展や体験プログラム、各種講座、施設普及事業を開催・実施するほか、施設の管理運営及び貸室事業（公益目的に合致するもの）を行う。					
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度（予算）
-	-	収入額	千円	154,583	159,285	183,321	158,534
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
歴史博物館事業（企画展、講座等）実施件数	R1	件	114				
	H30	件	113		159	博物館利用促進に努めた。	
	H29	件	129		144	博物館利用促進に努めた。	
	H28	件	74		139	博物館利用促進に努めた。	
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
旧小澤家住宅事業（企画展、講座等）実施件数	R1	件	30				
	H30	件	30		34	講座及び体験プログラム実演者の積極的な支援が得られた。	
	H29	件	35		37	講座及び体験プログラム実演者の積極的な支援が得られた。	
	H28	件	30		52	講座及び体験プログラム実演者の積極的な支援が得られた。	
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
歴史博物館等入館者数	R1	人	100,000				
	H30	人	100,000		112,079	特別展の開催、旧新潟税関庁舎の再公開、冬季を含め天候に恵まれた。	
	H29	人	100,000		87,930	旧税関庁舎改修工事及び冬季積雪のため	
	H28	人	114,000		93,652	旧税関庁舎改修工事のため	
活動指標④		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由	
旧小澤家住宅入館者数	R1	人	17,500				
	H30	人	16,000		17,576	地域の文化や食に関する事業を地元と共催することで広報の強化が図られ、入館者の増加につながった。	
	H29	人	16,000		15,396	小中学校の授業来館の減少、冬季悪天候、大学のカリキュラム変更による連携イベントの縮小	
	H28	人	18,000		15,795	他館のイベントが多くあり、連携不足から入館者を取り込めなかった。	

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

(単位：人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
役員数	11	11	12	12
常勤	3	3	3	3
市派遣	0	0	0	0
市職員OB	3	3	3	3
プロパー役員	0	0	0	0
他団体からの派遣	0	0	0	0
非常勤	8	8	9	9
市兼任	2	2	2	2
市職員OB	0	0	1	1
他団体兼任	6	6	6	6
その他	0	0	0	0
職員数	102	109	114	109
常勤	47	44	47	47
市派遣	2	1	1	1
市職員OB	0	0	0	0
プロパー職員	45	43	46	46
他団体からの派遣	0	0	0	0
非常勤	55	65	67	62
市兼任	8	12	12	9
市職員OB	5	5	5	5
他団体兼任	0	0	0	0
その他臨時・嘱託等	42	48	50	48
見直し等の取組み	プロパー退職者の再雇用を実施。	市派遣1名減。平成28年9月アーツカウンスル新潟の設置。		

(2) 職員の状況（市派遣職員を除く。）*市兼任も除く

(単位：人)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
職員の状況	管理職	0	1	1	1
	一般職	92	95	100	98
	合計	92	96	101	99
年齢構成	20代以下	14	12	12	9
	30代	27	26	28	28
	40代	37	40	42	42
	50代	6	10	9	10
	60代以上	8	8	10	10
	合計	92	96	101	99

(3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(予算)
報酬・給与等	389,749	402,667	418,566	446,047
内 市職員分	3,595	1,652	1,424	1,683
役員	17,224	17,433	18,419	18,648
常勤	14,060	14,167	13,762	13,707
内 市職員分				
非常勤	3,164	3,266	4,657	4,941
内 市職員分				
職員	372,525	385,234	400,147	427,399
常勤	250,019	239,459	254,916	273,079
内 市職員分	3,595	1,652	1,424	1,683
非常勤	122,506	145,775	145,231	154,320
内 市職員分				
平均年収(市職員を除く。)				
常勤役員	4,687	4,722	4,587	4,569
常勤職員	5,476	5,285	5,511	5,900
見直し等の取り組み	・市に準じて55歳昇給抑制を継続実施	・市に準じて55歳昇給抑制を継続実施	・市に準じて55歳昇給抑制を継続実施	・市に準じて55歳昇給抑制を継続実施

(4) 給与等の適正化の状況(市派遣職員を除く。)

現在の給与体系		今後の見直し予定	
	団体独自の給与体系		有 予定時期 年度～
●	市の給与体系を準用	●	無
	その他 []		その他 []

4. 財務の状況

(1) 正味財産増減計算書

(決算 単位：千円)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般正味財産増減の部	経常収益	1,942,855	1,864,518	1,874,166
	基本財産運用益	16,930	11,887	11,887
	特定資産運用益			
	受取会費			
	事業収益	412,000	375,970	1,575,356
	自主事業収益	412,000	375,970	313,242
	受託事業収益			1,262,114
	受取補助金等・負担金	1,513,844	1,469,557	285,395
	その他経常収益	81	7,104	1,528
	経常費用	1,923,331	1,861,478	1,892,456
	事業費	1,899,091	1,836,658	1,866,692
	公益目的事業費	1,662,115	1,581,226	1,612,853
	収益目的事業費	236,976	255,432	253,839
	(自主事業費)			
	(受託事業費)			
	法人会計			
	管理費	24,240	24,820	25,764
	評価損益等調整前当期経常増減額	19,524	3,040	▲ 18,290
	評価損益等	0	0	0
	基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等				
投資有価証券評価損益等				
当期経常増減額	19,524	3,040	▲ 18,290	
経常外収益	0	0	0	
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	19,524	3,040	▲ 18,290	
一般正味財産期首残高	61,231	80,755	83,795	
一般正味財産期末残高	80,755	83,795	65,505	
指定正味財産増減の部	受取補助金等・負担金			678
	その他(基本財産運用益)	15,395	12,151	13,655
	基本財産評価損益			
	特定財産評価損益			
	一般正味財産への振替額	▲ 16,930	▲ 11,887	▲ 12,565
	当期指定正味財産増減額	▲ 1,535	264	1,768
指定正味財産期首残高	1,002,788	1,001,253	1,001,517	
指定正味財産期末残高	1,001,253	1,001,517	1,003,285	
基金増減の部	基金受入額			
	基金返還額			
	当期基金増減額	0	0	0
	基金期首残高			
基金期末残高	0	0	0	
正味財産期末残高		1,082,008	1,085,312	1,068,790

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲) 人件費	469,504	486,869	513,621
役員分	19,356	19,547	20,494
職員分	450,148	467,322	493,127

(2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
資産の部	資産の部合計	1,464,845	1,555,738	1,511,131
	流動資産	317,116	391,817	341,257
	現金預金	209,426	270,251	225,636
	未収金	77,095	88,859	70,452
	有価証券			
	その他流動資産	30,595	32,707	45,169
	固定資産	1,147,729	1,163,921	1,169,874
	基本財産	1,001,253	1,001,517	1,001,660
	特定資産	133,116	151,563	159,726
	その他固定資産	13,360	10,841	8,488
	有形固定資産	2,410	3,418	2,774
	無形固定資産	10,950	7,423	5,714
その他投資等				
負債の部	負債の部合計	382,837	470,426	442,341
	流動負債	259,099	332,133	289,321
	短期借入金			
	その他流動負債	259,099	332,133	289,321
	固定負債	123,738	138,293	153,020
長期借入金				
その他固定負債	123,738	138,293	153,020	
正味財産の部	正味財産の部合計	1,082,008	1,085,312	1,068,790
	基金	0	0	0
	(基本財産充当額)			
	(特定資産充当額)			
	指定正味財産	1,001,253	1,001,517	1,003,285
	うち補助金			
	(基本財産充当額)	1,001,253	1,001,517	1,003,285
	(特定資産充当額)			
	一般正味財産	80,755	83,795	65,505
	代替基金			
その他一般正味財産	80,755	83,795	65,505	
(基本財産充当額)				
(特定資産充当額)	9,378	13,270	6,706	
負債の部及び正味財産の部合計	1,464,845	1,555,738	1,511,131	

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
市財政支出等の合計	1,430,317	1,200,660	1,273,771
補助金	218,692	183,011	215,924
負担金			
交付金			
委託料	1,211,625	1,017,649	1,057,847
貸付金(期中借入額)			
出資・出捐金(追加額)			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
債務保証に係る債務残高			
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免、建物の無償貸与等)	会場使用料の減免(主催事業開催時) 施設備品の貸与	会場使用料の減免(主催事業開催時) 施設備品の貸与	会場使用料の減免(主催事業開催時) 施設備品の貸与

(市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

市の文化創造交流都市ビジョンに沿い、財団設立の目的である芸術文化、歴史文化の推進と市民の自主的な文化活動を支援するための事業を実施するための経費、また、指定管理施設における指定管理事業を適正に遂行するための指定管理料であり、必要不可欠な経費である。

(4) 遊休財産の状況

(単位：千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
純資産	1,082,008	1,085,312	1,068,790
公益目的保有財産	▲ 240,681	▲ 237,800	▲ 235,413
公益目的事業を行う為に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産	▲ 773,932	▲ 774,558	▲ 774,735
特定の財産の取得又は改良に充てるために保有する資金	▲	▲	▲
合理的に算出された必要限度額以内の特定費用準備資金	▲ 9,378	▲ 13,270	▲ 6,706
抛出者の意思に従って、使用・保有されている財産	▲	▲	▲
遊休財産額	58,017	59,684	51,936

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

（1）財務の健全性

指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
経常損益	当期経常増減額	19,524 千円	3,040 千円	▲ 18,290 千円	
自己資本比率	純資産	73.9 %	69.8 %	70.7 %	
	純資産＋負債				
流動比率	流動資産	122.4 %	118.0 %	118.0 %	
	流動負債				
固定長期適合率	固定資産	95.2 %	95.1 %	95.7 %	
	固定負債＋純資産				
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %	
	資産の部合計				
剰余金（欠損金）	純資産 －資本金（基本金）	182,008 千円	185,312 千円	168,790 千円	
公益目的事業比率	公益目的事業費	86.4 %	84.9 %	85.2 %	
	公益・収益目的事業費＋管理費				
遊休財産水準	公益目的事業費 遊休財産額	28.65	26.49	31.05	
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	● 有	→	① 運用方針を明文化し、それに従って運用している。	○
				② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。	○
				③ 資金運用に関する情報収集に努めている。	○
				④ 元本割れのリスクはない。	○

（2）団体の自立性

指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	4.3 %	2.3 %	2.1 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	73.6 %	64.4 %	68.0 %
	経常収益＋経常外収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	1.5 %	1.7 %	1.3 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

（3）経営の効率性

指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
職員1人当たり売上高	事業収益	4,039 千円	3,449 千円	13,819 千円
	職員数			
職員1人当たり経常利益	事業活動収支差額	191 千円	28 千円	▲ 160 千円
	職員数			
管理費比率	管理費	1.3 %	1.3 %	1.4 %
	経常費用			
職員1人当たり管理費	管理費	238 千円	228 千円	226 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	24.2 %	26.1 %	27.4 %
	経常収益			
役員人件費比率	役員人件費	4.1 %	4.0 %	4.0 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況			
●	有	計画名称 事業計画書(市民芸術文化会館・音楽文化会館) 同上(歴史博物館・旧税関庁舎等及び旧小澤家住宅)	計画期間 (平成31 令和5 平成28 ~ 平成32) 年度
概要・数値目標			
<p>芸術・歴史文化の振興という目的を達成するための主要な事業としては、市から指定管理を受託して行っている各文化施設の維持管理と文化事業の実施がその根幹をなしており、指定管理期間(5年間)を計画期間として、「主要事業」欄に掲げているホール等の利用率、施設入館者数等を数値目標として事業計画を策定している。</p> <p>市で策定された新潟市文化創造交流都市ビジョンの内容を踏まえながら、財団事務局として今後5年間の財団経営の方針を定めた「財団経営方針―財団が目指すべき組織像」を策定している。</p> <p>また、新潟市のビジョンとの関連から新たに事務局内に設置した「アーツカウンシル新潟」についても6年間の中長期計画を策定している。</p>			
	無	未策定理由	

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任		専門家による会計指導	
●	有	就任時期 平成30 年度～ 依頼先職種 [中小企業診断士]	● 有 依頼時期 平成7 年度～ 依頼先職種 [税理士]
	無		無

③ 事務処理改善の取組み			
●	有	取組内容 年度～ (市民芸術文化会館と音楽文化会館、県民会館の一体的管理を目的に、保守契約の一元化(H18～、県民会館はH29～)、設備運転及び警備業務を統合したうえで複数年契約(H19～)を実施 公益法人会計基準への対応 ・新公益法人会計基準(H18～H23) — 事務効率化を図るため財務システムを導入(H21～) ・新公益法人会計基準(H24～) — 24年度開始に向けた上記財務システムの改修(H23) — 改修後のシステムの運用及び微調整(H24) — 新しいシステムの検討・導入(R1)	
	無		

④ 人材育成の取組み			
●	有	取組内容 年度～ (各々の業務分野での専門研修に随時職員を派遣したほか、職員全体を対象とした財団主催の研修を年度毎のスケジュールにより実施。また階層別の組織マネジメント力にかかる研修を実施。 ・契約関係研修(H21) ・ 接遇研修(H23) ・ 情報セキュリティ研修(H23) ・ 庶務研修(H27) 県民会館職員向け H27マイナンバー対応等) ・ コンプライアンス研修 ・ 組織マネジメント研修:課長職(H28～H30) 課長代理主査職(H28～H29) 中級職員(H30～)	
	無		

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況			
●	有	策定期間 平成12 年度～ 規定名称 (公益財団法人新潟市芸術文化振興財団情報公開規程)	団体ホームページ掲載
	無	未整備理由	
			● 定款等 平成17 年度～
			● 事業内容 平成17 年度～
			● 役員名簿 平成17 年度～
			● 役員報酬 平成17 年度～
			● 事業報告 平成17 年度～
			● 正味財産増減計算書 平成17 年度～
			● 貸借対照表 平成17 年度～
			● 事業計画書 平成17 年度～
			● 予算概要 平成17 年度～

改善対応区分
 A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む)
 B:改善の取組の効果が始まっている
 C:改善の取組に着手
 D:改善の取組に向けて検討中
 E:今は実施せず今後の課題とする

6. 経営改善状況（個別の取組み）

(1) 前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項		公益目的事業比率の認定基準を達成したが、赤字体質にならない経費削減努力が必要である。					
改善・対応区分		●	A	B	C	D	E
当該区分の理由		当然ながら公益法人の認定基準ははるかに高いレベルで達成している。経費の削減と財源確保には今後も継続して努めていきます。					
今後の具体的な取組み・対応方針等		引き続き経費の削減と財源の確保に努めていきます。					
工 程	実施事項	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	自主財源比率・入場者数の目標値達成（芸文・音文）	進行管理	当年度の進行管理・次年度以降の設定	進行管理	進行管理		
今 後 の 改 善 ・ 対 応	入館者数の目標値達成（歴博・旧小澤）	進行管理	進行管理	進行管理	当年度の進行管理・次年度以降の設定 指定管理の応募		
	改善指標・成果目標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
成 果 指 標	自主財源比率・入場者数の目標値達成（芸文・音文）	計画	2. 主要事業②のとおり				
		実績					
	進捗状況	【30年度までの達成状況及び今後の見込み】 30年度までに市民芸術文化会館の改修工事は終了し、今年度は音楽文化会館の改修工事を実施している。施設相互に、可能な利用調整を行いながら事業の実施に努めており、今後も計画目標の達成に努めていきたい。					
	入館者数の目標値達成（歴博・旧小澤）	計画	2. 主要事業③のとおり				
		実績					
	進捗状況	【30年度までの達成状況及び今後の見込み】 30年度は開港150周年記念事業の実施により、計画目標を上回る実績を上げることができたが、今後も計画目標の達成に向けて努めたい。					

改善指示事項		新潟市民芸術文化会館・新潟市音楽文化会館・新潟県民会館の一体管理が実現したことから、各館の特性を活かした事業の検討・実施に取り組むとともに、複数館の一体的な事業の実現など相乗効果が期待できる事業構築を検討するなど、更なる入場者数・入館者数の増、専門ホールの利用率の向上に努めるべきである。					
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
当該区分の理由		各館、各ホールの特性を活かした事業を実施しているが、類似他施設同様に、利用者数、利用率は少しずつ減少、低下している状況がある。					
今後の具体的な取組み・対応方針等		今後も、各館、各ホールの特性を活かした事業の実施に努め、利用の促進につなげたい。					
工程	実施事項	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	市民芸術文化会館・音楽文化会館の指定管理	進行管理	当年度の進行管理・31年度以降の設定	進行管理	進行管理		
	県民会館の指定管理	当年度の進行管理・30年度以降の設定	進行管理	進行管理	進行管理		
今後の改善・対応 成果指標	改善指標・成果目標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	市民芸術文化会館・音楽文化会館の指定管理	計画	進行管理	次年度以降の設定	進行管理	進行管理	
		実績	良好に終了	良好に終了			
	進捗状況	【30年度までの達成状況及び今後の見込み】 30年度までの指定管理を良好に終了。31年度以降の5年間、引き続き指定管理者として指定を受けることができた。今後も指定管理業務の適切な遂行に努めたい。					
	県民会館の指定管理	計画	次年度以降の設定	進行管理	進行管理	進行管理	
		実績	良好に終了	良好に終了			
進捗状況	【30年度までの達成状況及び今後の見込み】 30年度から5年間の指定管理を良好に遂行してきている。今後予定される改修工事の準備を進めながらも、適切な指定管理業務の遂行に努めたい。						

改善指示事項		経費削減に向けた取組みは、管理施設ごとに取り組む場合であっても、最終的には法人全体の削減目標を設定した上で取り組む必要がある。					
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
当該区分の理由		各施設の施設内容も事業内容も異なっているものの、法人全体として取り組み可能な目標について目標を設定して取り組んでおり、一部では成果も上がっている。					
今後の具体的な取組み・対応方針等		働き方改革の流れも踏まえ、今後も業務の効率化と経費削減に繋がる目標を設定し、その達成に努めていきたい。					
工程	実施事項	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	法人全体の目標の検討と設定及び進行管理と検証	目標の検討と設定	進行管理と目標の検証	進行管理と目標の検証	進行管理と目標の検証		
今後の改善・対応 成果指標	改善指標・成果目標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	超過勤務時間の削減	計画	前年度比減	前年度比減	設定目標の達成	設定目標の達成	
		実績	18.1%減	2.2%減			
	進捗状況	【30年度までの達成状況及び今後の見込み】 29年度と比較して2.2%の減少となり、計画目標を達成している。今後も超過勤務の縮減に向けて周知徹底していきたい。					
	光熱費の削減	計画	前年度比減	前年度比減	設定目標の達成	設定目標の達成	
		実績	0.3%減	7.8%増			
進捗状況	【30年度までの達成状況及び今後の見込み】 29年度は前年度比減の計画目標を達成できたが、30年度は逆に増加となった。前年度に比べ工事休館が少なく、稼働日数が増えたこと、また、市民芸術文化会館の開館20周年事業、歴史博物館等の開港150周年事業を実施したことにより、光熱費が増加した。一部施設で電力自由化に伴う新電力契約で経費削減を図り、他施設も活用導入を目指している。						

改善対応区分 A:改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む) B:改善の取組の効果が始まっている C:改善の取組に着手 D:改善の取組に向けて検討中 E:今は実施せず今後の課題とする

(2) 【その他改善を要する事項】の改善状況

今後改善を要する事項		市の文化創造交流都市ビジョン推進のため、財団事務局としての中長期計画に沿って事業を着実に展開していく必要がある。					
改善・対応区分		A	●	B	C	D	E
当該区分の理由		財団事務局としての中長期計画に沿う内容で事業を実施しており、成果が出ていると考えている。					
①	今後の具体的な取組み・対応方針等	今後も財団事務局の中長期計画に沿って事業や課題の解決に取り組んでいきたい。					
	実施事項	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
今後の改善・対応工程	職員研修	階層別研修の実施	階層別研修の実施	階層別研修の実施	階層別研修の実施		
	アーツカウンシル新潟による事業展開	市民芸術活動の支援・文化プログラムの推進	市民芸術活動の支援・文化プログラムの推進	市民芸術活動の支援・文化プログラムの推進	市民芸術活動の支援・文化プログラムの推進		
成果指標	改善指標・成果目標	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	職員研修の内容	計画	課長職・課長代理職	課長職・中級者	初級者・中級者	無期雇用転換者	
		実績	課長職・課長代理職	課長職・中級者			
		進捗状況	【30年度までの達成状況及び今後の見込み】 課長職研修を30年度まで3年間実施。課長代理職主査研修を29年度まで2年間実施。30年度から元年度の2年で中級職員研修を実施中。今後、初級者と無期転換職員への研修を実施予定である。				
	市民の芸術文化活動活動への支援・助成件数と金額	計画	4,120千円	3,247千円	前年度以上	前年度以上	
		実績	21件 2,425千円	11件 1,990千円			
	進捗状況	【30年度までの達成状況及び今後の見込み】 予算の削減や申請内容から、活動支援助成の件数、金額は減少しているが、29年度から新たに基盤整備促進への事業助成も行っているとともに、相談、助言、提言や企画、提案、情報発信など、幅広く支援事業を展開している。					

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	事務局運営費の財源不足を補填していた市の補助金が見込めなくなり、基本財産の一部取崩しにより補填することになり、今後さらに経費削減と事業の見直しが必要となるが、財団全体としては公益財団法人としての認定基準を高いレベルで維持しており、今後も維持に努めたい。 市の財政的援助団体等監査を受け、30年度決算においては賞与引当金を新たに計上したことから経常損益は赤字となったが、これは一時的なものであり、財務の健全性は確保されているものと判断している。
団体の自立性	市からの派遣職員は1名。一部職免職員が4人。財団運営が財団職員中心となっていくべき状況の中で、管理職への財団職員の登用を進めるなど、引き続き職員の職務能力の向上や人材育成に努め、さらに財団の自立性を高めていきたい。
経営の効率性・適正性	厳しい財政状況の限られた予算の中で、指定管理施設の適正な管理を行うとともに業務の効率化を進め、可能な範囲の経費節減に努めている。 事務局運営費についても、市財政集中改革に併せ事務事業の見直しを進めている。
その他	アーツカウンシル新潟のさまざまな活動を通して、市民の文化芸術活動を支援し、文化プログラムの推進に努めている。 各施設間の連携、事務局機能の強化に向けた取り組みを進めている。
総括的な所見	
公益財団法人として、公の施設の指定管理をはじめとして公益目的に沿った事業活動を展開している。当財団の設立目的である芸術文化の振興と市民の自発的な文化活動の推進を図るため、今後も市と連携しながら事業展開を進めていきたい。	

【所管課による評価】

現状に対する評価	公益法人として、各施設の管理や文化事業の実施等を行い、市との連携についても概ね良好であると判断する。 自主事業による鑑賞者の目標達成やアーツカウンシルの設置による市民の文化活動の活性化への取り組みについては評価できる。しかし、一部施設の改修工事等の影響で貸館利用率が減少したため、今後目標を達成できるよ
課題及び改善すべき事柄	各改善事項に対する対応は現在行っており、少しずつ成果が上がってきているが、法人全体の経費削減目標の設定については、今後も適切な目標設定及び進行管理に努めていただきたい。 また、職員の計画的な採用により、職員育成・職務能力の強化にも努めていただきたい。
今後の指導方針	各種課題の改善に向けて、適切な目標数値の設定並びに目標の達成水準については引き続き検討を求める。 また、基本財産の一部取崩しが発生しており、今後さらなる経費削減と事業の見直しを喫緊の課題として取り組んでいただくとともに、財源の確保にも積極的に取り組んでいただきたい。

【新たに改善を要する事項】

①	今後の改善・対応目標	今後改善を要する事項						
		今後の具体的な取組み ・対応方針等						
	工程	実施事項・計画		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	改善指標・成果目標		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		計画						
		計画						

【総合評価】

概ね良好	改善の余地がある	改善が必要	抜本的な対応が必要
総括的な所見			
改善指示事項			

【総合評価を受けての団体としての決意】

--

【総合評価における改善指示事項への対応方針】

		改善指示事項						
①	今後の改善・対応目標	今後の具体的な取組み ・対応方針等						
		実施事項・計画		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	工程							
		改善指標・成果目標		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標							
		計画						
		実績						
計画								
		実績						